



# 全日本学生選手権 第28回 全日本学生個人ロードタイムトライアル自転車競技大会 2016年5月29(日)

埼玉県利根川上流 南側

主催: 日本学生自転車競技連盟/共催:(公財)日本自転車競技連盟 (一社)埼玉県自転車競技連盟  
協賛:(公財)JKA (公社)全国競輪施行者協議会 (一社)日本競輪選手会  
株式会社パールイズミ ブリヂストンサイクル株式会社 セイコータイムシステム株式会社  
後援: 加須市 加須市教育委員会 羽生市 羽生市教育委員会



Communiqué.02-2

2016年5月26日

チーフコミッサー 近嵐 智加良

## 1. スタート間隔について

- 大会要項記載の特別規則では、「原則として 30 秒間隔」としていたが、女子は「1 分間隔」でスタートするものとする。更にラスト 10 人は「2 分間隔」とする。各自スタート時刻を確認のうえ、遅れない様に準備すること。

## 2. レース中の車両走行について

- コースは道路幅員が狭いため、四輪車は原則として走行出来ない。(救護車等が走る可能性は有り)
- チームカーの伴走は出来ない。
- 違反行為の観察はモータバイク審判員が適宜走行して行う。

## 3. ゴミ投棄の禁止について

- 例年、コース脇へのボトル、食料、包装紙等のゴミのポイ捨てが散見されるが、回収が困難な場面も多々あり、こうした行為が今後の会場借用に支障をきたす可能性もある。これらゴミのポイ捨てに関して一切厳禁とする。
- 上記に反するボトル、食料、包装紙などの廃棄には、3000 円/件のペナルティーを科すものとする。
- その他、大会中に発生したゴミについても、各自で必ず持ち帰ること。

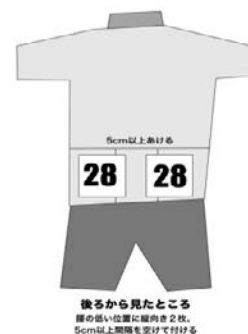
## 4. 無線通信装置の使用

- レース中の競技者との無線通信その他の遠隔通信は禁止とする。

## 5. ゼッケン・フレームプレートの取付け

- 本大会では、ゼッケン 2 枚(右図)+フレームプレートの着用を義務づける。**ゼッケンの付け方は右図のようにつけること。**なお、ゼッケンとゼッケンの間は最低 5cm 以上空けること。
- ゼッケンは大会終了後、すみやかに大会本部に返却すること。  
大会終了時に返却しなかった者および紛失は、ペナルティーの対象となる。
- フレームプレートは、フレーム前部中央につけることを原則とする。  
中央に取り付けられず、左右どちらかに寄ってしまう場合は、右側に寄せること。
- フレーム前部に取り付けること不可能な場合、シートピラーに取り付けることを認めるが、脚部で隠れないよう十分突き出した位置にしっかり固定すること。

ゼッケンの間は 5cm 以上



## 6. PIT設置場所について

- 本大会のコース内にPITを設ける。羽生スカイ公園そば(141km地点)と男子折り返し地点の 2 か所とする。女子については羽生スカイ公園そばのみの 1 か所とする。各PITに学連より前後の代輪を用意するが、交換は選手自身が自ら行うこと。また、各校にて用意した代車・代輪は、この 2 か所のPIT内においてのみ、交換を認める。その他地点では、立哨員からの代車・代輪の交換は認められない。



レースの結果はホームページでも公開しています。 <http://jicf.info/>